

先天性の右側股関節脱臼があります。最近  
は痛みに歩きにくさが加わり、人工関節の手術  
をするか迷っています。検査で骨盤に空洞  
があることが分かりました。最小侵襲手術や  
ロボット手術もあると聞きますが、私のような  
なケースは対象になりますか。(70歳、女性)

### 人工股関節全置換術



橋本慎吾医師

「質問いただいた症状は、変  
形性股関節症に伴う股関節の痛  
みと推察します。この股関節症  
の原因はさまざまですが、日本

## 技術進歩で脱臼リスク軽減

作に支障をきたします。  
まずは股関節周囲筋や体幹の  
トレーニング、痛み止めや外用  
薬で経過を見ますが、症状の改  
善が乏しい場合や日常生活動作  
に支障がある場合は手術加療を  
検討します。比較的若い方では  
人工股関節の耐久年数を考慮  
し、骨盤骨切り術などの関節温

関節症や大腿骨頭壊死症、関節  
リウマチに伴う関節痛に非常に  
有効な治療法です。最近では負  
担の少ない低侵襲手術、先端機  
器を用いたナビゲーションやロ  
ボットを併用した手術が積極的  
に行われています。低侵襲手術  
は筋力が温存されるので術後回  
復が早く、脱臼リスクが軽減さ

ので、痛みが持続して日常生活  
動作に支障がある場合は主治医  
の先生とご相談されることをお  
勧めします。  
(兵庫県整形外科医会、橋本慎  
吾 川西宮市、はしもと整形外科  
リハビリクリニック院長)  
◇第1、3、4日曜に掲載し  
ます。

では生まれつき股関節の被覆が  
小さい「寛骨臼形成不全」が最  
も多いと報告されています。変  
形性股関節症は軟骨や関節唇と  
いった股関節のクッションが徐  
々に劣化、摩耗し、大腿骨と骨  
盤の骨同士がぶつかることで痛  
みが生じます。股関節痛や可動  
域制限が進行すると日常生活動

存手術が第一選択になります。  
一方で、骨切り術の適応外の方  
や高齢の方については人工股関  
節全置換術を行います。  
人工股関節全置換術は、痛ん  
だ股関節を人工物に置換するこ  
とで疼痛を除去する手術です。  
痛みの軽減や可動域の改善が期  
待される手術であり、変形性股

れることが期待されます。ロボ  
ットなどのテクノロジは手術  
計画を正確に再現し、脱臼リス  
クを軽減することが可能です。  
以前と比較すると人工股関節  
全置換術の技術は飛躍的に進歩  
しており、手術時間や入院期間  
も短縮されています。高度な変  
形や骨の欠損にも対応可能で

ることを期待されます。ロボ  
ットなどのテクノロジは手術  
計画を正確に再現し、脱臼リス  
クを軽減することが可能です。  
以前と比較すると人工股関節  
全置換術の技術は飛躍的に進歩  
しており、手術時間や入院期間  
も短縮されています。高度な変  
形や骨の欠損にも対応可能で